

# 2021年度 第3回長崎県がん診療連携拠点病院研修会

## アンケート調査結果

【開催日】 2022年1月25日（火）

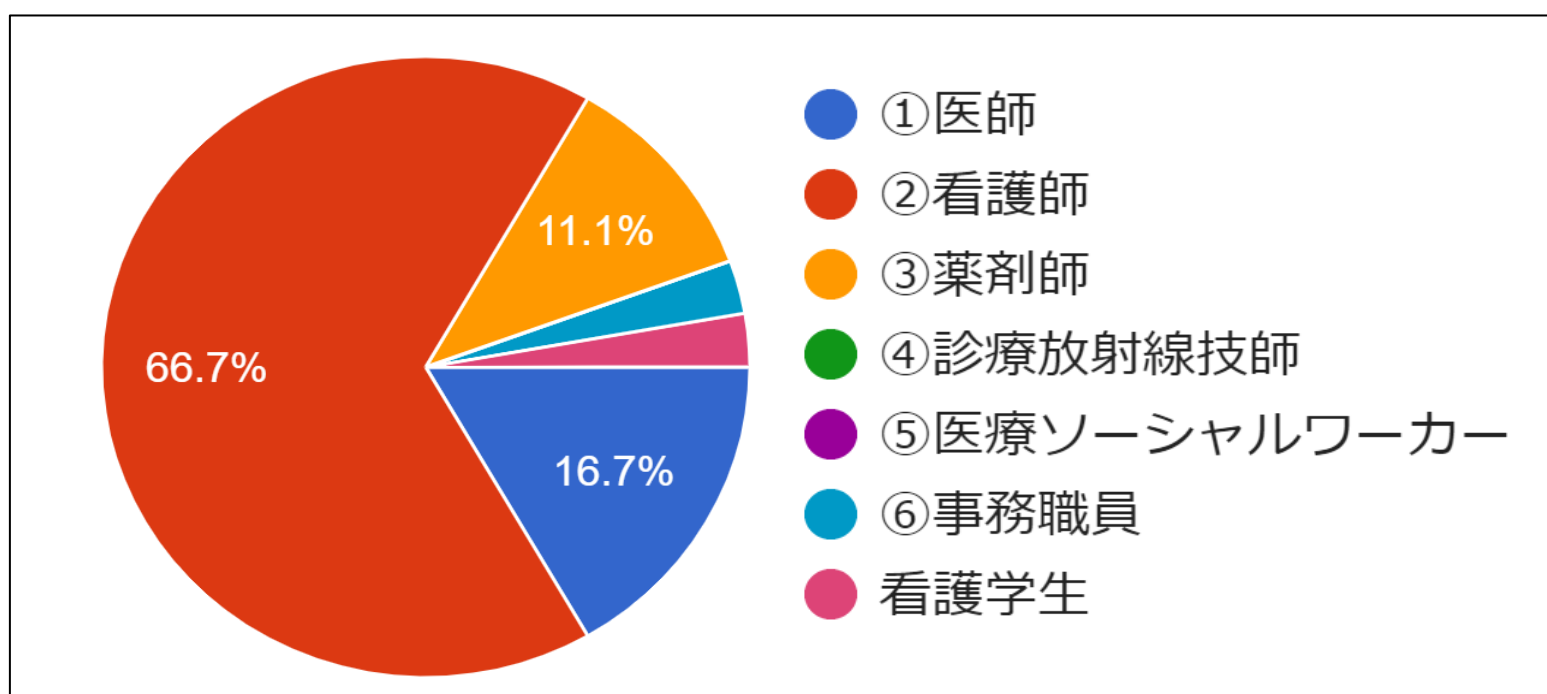
【時間】 18:30～19:30

【形式】 Web講演

【出席者】 83名

【回答者】 36名

※回答者割合は下記グラフのとおり



### 【出席者 内訳】

職種	施設名									
	大学	みなと	佐世保市 総合	諫早 総合	原爆	佐世保 中央	島原	長崎 医療	他施設	合計
医師・歯科医師	11	0	3	0	4	0	0	0	3	21
薬剤師	1	0	1	1	0	0	0	0	6	9
看護師	40	0	0	1	0	0	0	0	2	43
放射線技師	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
MSW	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
事務職員	3	0	1	0	0	0	0	0	1	5
その他・不明	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	59	0	5	2	4	0	0	0	13	83

## 【今回の講演について】

### ①よかったところ

- ・実際の妊孕性温存の流れや助成、支援について分かった（看護師）
- ・具体的な基準などが聞けてよかった（医師）
- ・AYA世代など初歩的なところから段階を踏んで説明して頂き、大変分かりやすかった（看護学生）
- ・分かりやすかった（看護師）
- ・実際に患者さんに抗がん剤で治療をする際に説明する留意点がわかりやすかった（看護師）
- ・これまでがん治療では、救命が優先と考えがちであったが、QOLを高める治療でなければと改めて考えさせられた（看護師）
- ・アヤ世代の患者さんが入院されたら、バックグラウンドを考えながら関わることができる（看護師）
- ・卵巣組織凍結について学べたこと（看護師）
- ・とてもわかりやすい講義で、整理できた（医師）
- ・具体的な例が、わかった（看護師）
- ・AYA世代の妊孕性について考える良い機会となった（薬剤師）
- ・妊孕性保存についての詳しい手技・手順・タイムスケジュール・受け入れ機関などがよくわかった。ありがとうございました（医師）
- ・スライドを使ってわかりやすく説明がなされていた（看護師）
- ・紹介の手順がわかった（医師）
- ・がん診療センターが窓口になってくれることがわかったこと（看護師）
- ・一般的な妊娠の話からがん患者の妊娠についての話まで、最後は長崎県の助成金のこともあり、幅広く知ることができた（看護師）
- ・とても聴きやすくわかりやすい講義だった。ありがとうございました（看護師）
- ・妊孕性確保について、猶予時間による試せる治療法の選択肢がどうかということなど、全体像を広く学ぶことが出来たのは助かった（医師）
- ・小児からAYA世代までのがん治療と妊孕性温存の実際についてとてもわかりやすかった（看護師）
- ・AYA世代がん患者に対する妊孕性の重要性について理解を深められた。患者説明などへ役立てていきたい。他医療スタッフへも助言していきたい（看護師）
- ・具体的に妊孕性温存についての説明は初めて聞いたので勉強になった（看護師）
- ・詳細に説明されるところがあり、看護師にもわかりやすかった（看護師）
- ・妊孕能温存について最新の話を知ることができてよかった（医師）
- ・具体的に解りやすく講演して下さったところ（看護師）
- ・妊孕性温存のために色々な手術があるとわかったこと（看護師）
- ・妊孕性温存療法といっても、治療までの期間や年齢など患者のおかれている状況に応じて選択肢があることや、今年4月から助成制度が開始することを知ることができ、とてもためになった（看護師）
- ・とても勉強になった（看護師）
- ・具体的なスケジュールなども知ることができてよかった（看護師）
- ・内容がわかりやすかった（看護師）
- ・身近な問題で、患者にとっては重要なことであり、とても分かりやすくてよかった（看護師）
- ・妊孕性温存の具体的な方法などについてのお話があり、とても分かりやすかった（看護師）

- ・周りに該当するような方がいないので、今まで余り興味がなかったが、今回もっと身近にあるかもしれないと考えを改めた。またもっと知識をつけてこういった方の支援ができるといいと思えた。そういうふうな考えを改める機会を作ってくれるいい講演だと思う（薬剤師）
- ・がん治療を行う上で、ただ治療や予後のことだけではなく妊孕性を保持するために何を考慮する必要があって、その選択に関わる要件に治療開始までの時間も存在することなどを具体的に説明して頂けたところ（薬剤師）

## ②気になったところ

- ・助成がどこまで有効なのか、どれくらい助成してもらえるのか（看護師）
- ・妊孕性温存の実績とリスクについて（看護師）
- ・現行の助成金の方が患者さんにとっては得になる場合もあるときいたことがあるが、制度が始まってみないと分からないのか？（看護師）
- ・乳がんホルモン感受性があるかたの卵巣刺激方法でがんが進行する可能性はあるのか？（看護師）
- ・現場での応用（看護師）
- ・途中で音声聞こえないところがあった（看護師）
- ・もちろん、困ったら大学にご紹介すればよいと思っているが（私共は依存し過ぎてはいけないと重々理解してはおります）、3番に示したような症例検討のスタイルを一部に挟んでいただければ、こちらがどのような形でコラボさせていただくのがより良い形なのか理解出来るように思う（医師）
- ・患者の自己負担や国や県の支援内容（看護師）
- ・妊孕性温存の実際と患者負担について（看護師）
- ・特にありません。しいて言えば途中で音声聞こえなかったときが数分あった（医師）
- ・凍結保存にかかる管理費用を今度からとろうと思っているとのことだが、保存年数がどれくらいになるか分からないため、個人負担になると高額になるのではと気になった（看護師）
- ・費用についてもう少し詳しく聞きたかった（看護師）
- ・小児がんの患者さんなどに対する抗がん剤などの影響が卵巣や精巣にどの程度影響するかなどを知りたい（看護師）
- ・今までにがん治療をおこなった後に体外受精などの処置を希望された患者さんはいらっしゃるのかなと思った（薬剤師）

## ③講演に関する要望

- ・AYA世代の話題が地方では少ないのですごく勉強になりました。継続してAYA世代を支えるサポートができる内容の研修があったらいいなと思った（看護師）
- ・開業医なので、臨床に即した内容だと嬉しい（医師）
- ・ゲノムについて（看護師）
- ・AYA世代に関すること（看護師）

#### ◆次回の講演で希望すること（内容、場所、日時など）

- ・今後もたぶんウェブ開催になるかと思しますので、特にありません（医師）
- ・ZOOM研修は移動時間がなく、参加しやすいので多くを学べる（看護師）
- ・オンラインを継続していただくと有難い（薬剤師）
- ・がん遺伝子検査等について（医師）
- ・zoomで実施し自宅で見ると、子どもの送迎時間と被るので もう少し時間をずらしてほしい（看護師）
- ・日時は、今より遅くなければ大丈夫かと思うが、可能ならば更に30分早くても有難い。内容は、1つのテーマに関して、一つ事例検討ないし報告が入って話が進む形が有難い（テーマは何でも歓迎）（医師）
- ・継続してAYA世代を支えるサポートができる内容の研修があったらいいなと思う（看護師）
- ・オンラインはありがたいです。時間は丁度いい（医師）
- ・配布資料があればいいと思った（看護師）
- ・化学療法の看護について大学病院での取り組みなど（看護師）
- ・同じでよい（看護師）
- ・もう少し遅い時間がいい。18:30に仕事終わりなので焦る（薬剤師）
- ・またWEB開催であれば助かる（薬剤師）

#### ◆がん診療センターに対するご要望をご記入ください

- ・今後もよろしく願います（医師）
- ・いつもありがとうございます（看護師）
- ・今後ともよろしく願います（医師）
- ・いつもありがとうございます（医師）
- ・次の研修会を楽しみにしております（医師）
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます（看護師）
- ・今までのZOOMの講義で、参加できなかった分など、もう一度見れるようなシステムがあれば嬉しい（看護師）
- ・特にございません。研修会していただいてありがとうございました（薬剤師）